



ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和6年5月13日
文責：校長 江上 知男

運動会の練習が本格化しています！



低学年練習



高学年練習

5月25日(土)の運動会まで2週間を切り、各学年とも練習が本格化しています。各学年のメインとなる「ダンス・表現」の練習は、現在主に体育館で進行中です。今週末から来週初めには、運動場での練習に移行すると思われます。また、応援団については、放課後等に時間を惜しんで頑張っています。子どもたちの主体的な姿に、「良い経験しているなあ」と思って観ています。

さて、運動会の大きな課題は「天候」です。「運動会当日の悪天候」が最大の懸念ですが、こればかりは人間の力ではどうしようもありません。もう一つの課題は「熱中症対策」です。今年、練習中に「暑い」と感じる日は今のところ少ないですが、だからこそ「暑さに慣れない」という側面もあります。「暑さ指数(湿度・日射・気温から算出する指標)」をチェックしながら、子どもたちの体調を見極め、適度な休憩を取りながら練習を進めたいと考えます。熱中症は命に関わることから、細心の注意を払っていきます。どうかご家庭におかれましても、子どもたちの食事や睡眠時間等体調管理に気を遣っていただき、水筒やタオル等の準備をよろしく願います。

ところで、5月11日(土)に、PTAやたが隊委員の方々が運動場等の除草作業をしてくださいました。環境が整備され、気持ちよく運動会当日を迎えられます。心から感謝いたします。



素敵な4人組！

みんなで力を合わせて運動会準備！

運動場の整備について、休み時間(業間)に、子どもたちが主体的に石拾い等を行っています。これは、運動・ボランティア両委員会の「赤白対抗小石小枝拾い」という企画で、なんと「運動会の得点」に加えられます。本校伝統のとてもユニークで効果的な取組だと思えます。

中には、昼休みにも頑張っている子どもたちがいます。毎日、一輪車いっぱい石や枝を集めてくれます。目がキラキラ輝いています。

この休みに、母に会いに行きました。私の母は、「アルツハイマー型認知症」で、老人ホームで生活しています。会いに行っても、息子の私をなかなか思い出してくれません。「要介護5」という最重度ながら、「天真爛漫な人柄」で周りの人を笑顔にします。私もいまだに説教されながら元気をもらいます。

そんな母は、私が子どもの頃からとにかく「人への依存」を嫌う人でした。私も弟も、朝の玄関掃除や夕方の風呂掃除は「毎日の仕事」、ガラスを割ったりして金銭的迷惑をかけたなら「家庭内アルバイト」、インスタラーメンは小学校1年の時から作られました。とにかく「自分の力で生きていく力」を付けたかったのだと思います。口癖は「親はいつ死ぬかわからん！」「勉強できなくても、たくましく生きろ！」「自分が痛んでも、人を傷つけるな！」等々で、失敗も笑いに変えてしまう大らかさの持ち主です。

認知症の進んだ母ですが、息子である私を見る「眼差し」は少しも変わらない気がします。